

# みよし文化財だより

文化財保護課(歴史民俗資料館) 電話 049-258-6655

※「みよし文化財だより」は文化財保護課(歴史民俗資料館)が作成する不定期刊行物です

## ●発掘された大昔の三芳

残された文字がない、又は少ない時代の歴史を知るためには、文字や言葉から得る情報以外の手がかりから推測するしかありません。そのひとつが、地中に残された埋蔵文化財いわゆる「遺跡」で、それを調査する発掘調査の成果であるといえます。

三芳町内には、現在 33 ヲ所の遺跡が確認されていて、毎年 10 件前後の発掘調査を実施しています。今回はこのうち、平成 28 年度に調査を行った「藤久保東遺跡第 28 地点」の成果についてご紹介します。

藤久保東遺跡は、藤久保第一土地区画整理事業地内を中心に広がる遺跡です。第 28 地点は川越街道「藤久保交差点」付近の珈琲館とコインランドリーができた場所で、工事に先立って調査が行われました。その結果、約 2 万 5 千年前と約 3 万 5 千年前の地層から、旧石器時代の石器や、狩りのためのキャンプ跡が複数カ所確認されました。特に、約 3 万 5 千年前の石器は、埼玉県内でも最古級の発見になります。

こうした旧石器時代の痕跡は、富士見江川の流れが作り出した斜面に連続と残されています。その理由としては、旧石器時代は狩猟・採集の時代であり、住まいを作って定住する生活ではなく、獲物を追って遊動する生活であったためと考えられるのです。富士見江川の水辺に集まる獲物を狩るために、石器作りをして待ち構える…そんな旧石器時代の人々の姿が目の前に浮かび上がります。

また、石器作りに使われる石材には、さまざまな種類があることがわかりました。チャートの入手先は入間川の上流で比較的近場ですが、黒曜石は信州や箱根地方、頁岩や安山岩は群馬県北部など、いずれも三芳から直線距離で 100km を越える産地のものも多く見られます。三芳から産地に採りに行ったのか、産地の人々が三芳に来たのか明らかではありませんが、旧石器時代の人々の行動範囲の広さを実感させられます。

この藤久保東遺跡第 28 地点の調査成果は、埼玉県内でも貴重な事例として注目され、出土した石器は、埼玉県の最新出土品展に出展されました。



藤久保東遺跡第 28 地点の位置



一 ナイフ形石器

【約 2 万 5 千年前】

ヤリの先などにつける刺突具

局部磨製石斧片【約 3 万 5 千年前】  
— 先端部など(図の色の濃い部分)を  
研磨した石斧の破片



※全体の形は  
推定です

●藤久保東遺跡第28地点の調査成果を報告します

おもて面でご紹介した藤久保東遺跡第28地点の詳しい調査成果を、より多くの方々に知っていただきたく、下記の日程で報告会を行います。【※いずれも会場は歴史民俗資料館ではありませんので、ご注意ください】

9月29日(土) 第2回 週末ほっとワークス

(会場: 藤久保公民館)

11月17日(土) 第7回 入間東部地域史研究発表会

(会場: 鶴瀬西交流センター)



●これからの歴史民俗資料館のイベント

歴史民俗資料館では、より多くの方々に歴史や文化を身近に感じていただくため、さまざまなイベントを企画しています。詳細については、広報みよし紙上やチラシ・ポスターなどでご確認ください。なお、内容についてはあくまでも予定であり、また、申込み状況によっては既に受付を終了しているイベントもございますのでご了承ください。

日にち	イベント名	内 容	参加要件
9月8日(土)	民家で夜語り	夜の旧池上家住宅で、笑話からちょっと怖い話まで、素語を楽しめます。	事前申込制 ※受付終了
9月14日(金) ~11月25日(日)	紅赤発見120年記念 特別展 『三芳と甘藷』	さつまいもの「紅赤」が発見されて、今年で120年にあたることを記念し、さつまいもとその産地である三芳の深い繋がりを紹介する展示。	観覧料無料
9月30日(日)	資料館まつり	郷土芸能公演、焼き団子などの販売、藍染め・まが玉作りなどの各種体験、展示コーナーなど資料館ならではの楽しい内容が盛りだくさん!	申込不要
10月6日(土)	土曜体験教室	紅赤を使った料理体験	事前申込制
10月13日(土)	さつまいも大学	講義や体験をとおして、三芳町の特産品であるさつまいもについて知識を深めます。	事前申込制
10月27日(土)	土曜体験教室	火おこしに挑戦	事前申込制
11月10日(土)	土曜体験教室	むかしのあかり・行灯作り	事前申込制